

教科名 第3学年振り返り講義①

責任者名 田中秀樹

学期 前期

対象学年 3学年

授業形式等 講義

◆担当教員

川戸貴行 衛生学 教授  
田中秀樹 衛生学 准教授・  
人見涼露 生理学 准教授・  
坪井美行 生理学 専任講師  
林良憲 生理学 准教授・  
鈴木直人 生化学 教授・  
山口洋子 生化学 専任講師  
田邊奈津子 生化学 准教授  
津田啓方 生化学 准教授・  
高橋富久 解剖学Ⅰ 教授・  
山崎洋介 解剖学Ⅱ 准教授  
小泉寛恭 歯科理工学 准教授

◆一般目標 (GIO)

第2学年で学んだ事項を第3学年以降の科目の履修の基礎とするために、歯科学に関する知識の総合的な理解を深め、身につける。

◆到達目標 (SBOs)

特に共用試験で必要となる学修事項について格段の学力向上を図り、試問に対応できる。

◆評価方法

以下に示す2つの試験の総得点率50%以上を合格とする。

振り返り講義試験①(前期の定期試験期間に実施) 試験範囲は前期の振り返り講義の第1回～第28回とその関連事項。

振り返り講義試験②(後期の定期試験期間に実施) 試験範囲は後期の振り返り講義の第1回～第14回とその関連事項。

なお、各試験の得点率に応じて再試験を実施する。

総得点率は小数点以下を切り捨てて算出する(第1位を四捨五入しない)。

再試験後に2つの試験の総得点率が50%に達しない場合、当該年度の「進級判定及び単位認定の特例」から除外する。

◆オフィス・アワー

担当教員 田中秀樹

対応時間・場所など 月曜日 17:00～18:00 衛生学講座(本館7F)

メールアドレス・連絡先 [tanaka.hideki@nihon-u.ac.jp](mailto:tanaka.hideki@nihon-u.ac.jp)

備考

◆授業の方法

第2学年で履修した科目の学修事項を、公的試験における試問の視点で講義形式で復習する。また、適宜、第3学年で履修中の科目との関連性を確認しながら講義を行う。なお、各講義内容についての質問はその授業担当者によること。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

教科書1 新編 衛生学・公衆衛生学、安井利一、他、医歯薬出版株式会社、2021年

教科書2 口腔衛生学 2024、福田雅臣、他、一世出版株式会社、2024年

教科書3 基礎歯科生理学、第7版、岩田幸一 他、医歯薬出版、2020

教科書4 スタンダード生化学・口腔生化学、第4版、荒川俊哉 他、学建書院、2023

教科書5 人体解剖学、第42版、藤田恒太郎、南江堂、2016

教科書6 組織学・口腔組織学、第5版、磯川桂太郎 他、わかば出版、2024

教科書7 スタンダード歯科理工学、第8版、米山隆之他、学建書院、2024

◆DP・CP

コンピテンス4: 歯科医学および関連領域の知識

コンピテンス: 4-2, 4-3, 4-4, 4-6, 4-7, 4-8, 4-9

コンピテンス8: 生涯学習

コンピテンス8-1

対応するディプロマポリシー: DP3, DP4, DP8

◆準備学習(予習・復習)

予習では各授業回の学修項目に該当する教科書や配布資料に目を通して用語などを確認しておくこと。

復習では講義で振り返った事項について理解に至っていない事項を洗い出し、担当教員への質問などによって解決するとともに、振り返り講義試験①に向けて要点を整理すること。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を予習あるいは復習の目安とし、自身の理解や知識の定着の度合いに応じて調節すること。

◆全学年を通しての関連教科

衛生学1,2 (2年前期・後期) ▪  
 生理学2 (2年前期) ▪  
 生化学2,3 (2年前期・後期) ▪  
 解剖学 (2年前期・後期) ▪  
 口腔組織学 (2年前期) ▪  
 歯科理工学1,2 (2年前期・後期) ▪

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当科目 担当教員	H28年度版コアカリ キュラム
1	AB	4月7日	3	健康と予防の概念 教1)pp.3-5, 15,16, 教2)p.40 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>WHOによる健康の定義から、健康の多面性を説明できる。</li> <li>ICFモデルから健康と生活機能との関係性を説明できる。</li> <li>疾病の自然史を図説できる。</li> <li>予防の水準を疾病の自然史と関連付けて説明できる。</li> <li>プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。</li> </ul>	川戸貴行	B 社会と歯学 B-1 健康の概念 B-1-①健康、障害と疾病の概念を説明できる B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 B-3-1-①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 B-3-1)-③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。
2	AB	4月7日	4	人口統計 教1)pp.47-58 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な基幹統計と一般統計を列挙できる。</li> <li>我が国における人口静態統計、ならびに人口ピラミッド、年齢3区分別の割合・指数を説明できる。</li> <li>我が国における人口動態統計、ならびに出生率、再生産率、死亡率、年齢調整死亡率、死因別死亡率を説明できる。</li> <li>平均余命と平均寿命を説明できる。</li> <li>母子保健関連指標の概念を図説できる。</li> <li>歯科疾患実態調査と学校保健統計調査の調査概要と主な結果を説明できる。</li> </ul>	川戸貴行	B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健統計 B-4-2)-②主な保健統計 (歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等)を説明できる。 B-4-2)-③主な健康指標 (平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等)を説明できる。
3	AB	4月14日	3	疫学 教1)pp.18-35 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>疫学要因の考えを三角モデルと車輪モデルで説明できる。</li> <li>疫学指標(有病率、罹患率、相対危険度、寄与危険度、オッズ比)を説明できる。</li> <li>観察研究(記述疫学、生態学的研究、横断研究、コホート研究、)と介入研究(ランダム化比較試験)を説明できる。</li> <li>EBMのステップを説明できる</li> <li>システムティックレビューとメタアナリシスを説明できる。</li> <li>エビデンスレベルを説明できる。</li> </ul>	田中秀樹	B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1)-①疫学と根拠に基づいた医療<EBM>の概念を説明できる。
4	AB	4月14日	4	齲蝕の病因論と予防 教2)pp.152-156, 180-192, 273-293 歯周病の病因論と予防 教2)pp.156-159, 246-50 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>齲蝕の発生要因(Keyesの3要因)と各要因に対応した予防法を説明できる。</li> <li>フッ化物による齲蝕予防機序(全身応用・局所応用)を説明できる。</li> <li>フッ化物による齲蝕予防法を使用するフッ化物の種類、濃度とともに説明できる。</li> <li>小窩裂溝充填法による齲蝕予防について説明できる。</li> <li>歯周病の発生要因を説明できる。</li> </ul>	田中秀樹	B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 B-3-2)-①主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 B-3-2)-②齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 B-3-2)-⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。

5	AB	4月21日	3	ブランクコントロール 教2)pp.306-316 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理的ブランクコントロールと化学的ブランクコントロールを説明できる。</li> <li>歯ブラシの毛先または毛の脇腹を用いた歯面清掃(刷掃法)法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。</li> <li>補助的清掃器具を列挙し、作用を説明できる。</li> <li>歯ブラシの有害作用を説明できる。</li> <li>歯磨剤と洗口剤の作用・効果を配合成分と対応させて説明できる。</li> </ul>	川戸貴行	B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2)-③ブランクコントロールの意義と方法を説明できる。
6	AB	4月21日	4	歯科疾患の疫学指標 教2)pp.194-207 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>齲蝕経験(DMF)を歯の臨床所見と対応させて説明できる。</li> <li>齲蝕の疫学指標(DMF者率, DMF歯率, DMF歯面率, DMFT指数, DMFS指数, RID指数)を説明できる。</li> <li>歯周疾患の疫学指標(PMA指数, GI, CPI, PI, PDI, GB Count)を説明できる。</li> <li>口腔の衛生状態の指標(OHI, OHI-S, PHP, PII, PCR)を説明できる。</li> </ul>	川戸貴行	B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1)-③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。
7	AB	4月28日	3	口腔感覚・咀嚼・顎運動・嚥下・嘔吐 教3)pp.301-321, 356-412 資料配布	<p>口腔、顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生・制御機構を説明できる。</p> <p>下顎の随意運動と反射を説明できる。</p> <p>吸啜、咀嚼、嚥下の意義と制御機構を説明できる。</p> <p>嘔吐反射と絞扼反射を説明できる。</p>	人見涼露	E-2-1)-⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。 E-2-1)-⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)-⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1)-⑩嘔吐反射と絞扼反射を説明できる。 E-2-2)-⑨口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。
8	AB	4月28日	4	睡眠・体温・老化・発声 教3)pp.123-131, 265-271, 442-462 資料配布	<p>発声と構音に関わる器官の構造と機能を説明できる。</p> <p>体温調節の機序を説明できる。</p> <p>口腔顔面領域の加齢変化について説明できる。</p>	坪井美行	C-3-4)-(09)-③体温の調節機序を説明できる。 E-2-2)-⑧構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。
9	AB	5月12日	3	味覚・唾液・大脳 教3)pp.246-252, 322-341, 426-441 資料配布	<p>味覚受容器の構造と味覚を説明できる。</p> <p>唾液の性状、構成成分及び機能を説明できる。</p> <p>唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。</p> <p>中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を説明できる。</p>	林良憲	C-3-4)-(05)-④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 E-2-2)-⑤唾液の性状、構成成分及び機能を説明できる。 E-2-2)-⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 E-2-2)-⑩味覚器の構造と分布、味覚の受容と伝達機構を説明できる。

10	AB	5月12日	4	<p>1. 結合組織  1) 構成成分  2) 線維性タンパク質の構造と機能  3) 非線維性マトリックス成分  4) RGD配列とインテグリン  5) マトリックス金属プロテアーゼ  6) 基底膜  2. 結合組織と疾患  3. 硬組織(その①)  1) 代謝性骨疾患  2) 骨細胞  教4) pp.178-201、pp.220-221  資料配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔組織の大部分は結合組織であり、それぞれの組織に固有な細胞によって合成分泌される細胞外マトリックス成分(線維性および非線維性成分)から構成されていることを説明できる。</li> <li>・コラーゲンの種々の型と組織内分布の特徴を説明できる。</li> <li>・コラーゲンを構成するアミノ酸組成の特徴および生合成の過程を説明できる。</li> <li>・エラスチンの構成成分の特徴を説明できる。</li> <li>・プロテオグリカンの構造と機能を説明できる。</li> <li>・接着性糖タンパク質の構造と機能を説明できる。</li> <li>・RGD配列とインテグリンの関係を説明できる。</li> <li>・細胞外マトリックス成分の分解は、マトリックス金属プロテアーゼが関与することを説明できる。</li> <li>・マトリックス成分の分解調節機構を説明できる。</li> <li>・基底膜を構成する主なコラーゲン線維及び非線維成分の構造と機能を説明できる。</li> <li>・結合組織に起こる代表的な疾患の原因を説明できる。</li> <li>・代表的な骨疾患を説明できる。</li> <li>・骨細胞が分泌するDMP-1,FGF-23,スクレロスタチンの役割を説明できる。</li> </ul>	鈴木直人 山口洋子	<p>C-2-4)-①細胞接着の機構を説明できる。  C-2-4)-③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能、合成と分解を説明できる。  C-3-4)-(2)-②結合(支持)組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。</p>
11	AB	5月19日	3	<p>4. 骨と歯の組成  5. 骨と歯の無機成分  1) 骨と歯を構成する主要元素  2) エナメル質の無機成分の分布  3) リン酸カルシウムの種類とCa/P比  4) リン酸カルシウム化合物の比較  5) ヒドロキシアパタイト結晶の構造  4. 骨と歯の有機成分  1) 骨の有機成分  2) 歯の有機成分  3) エナメル質のタンパク質  4) 象牙質に特有なタンパク質  教4) pp.202-214  資料配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エナメル質、象牙質、セメント質および骨の無機質、有機質、および水分の重量%の比率を説明できる。</li> <li>・歯の硬組織を構成する主要な元素組成を説明できる。</li> <li>・骨や歯の無機成分の主成分はヒドロキシアパタイト(HA)であることを知る。</li> <li>・軟組織にも存在するMGP、オステオネクチン、OPNなどのタンパク質や、デコリンなどのプロテオグリカンの成分の特徴や機能を説明できる。</li> <li>・幼若エナメル質に含まれるアメロゲニン、エナメルリン、アメロプラスチンの構造の特徴や機能を説明できる。</li> <li>・象牙質に含まれる代表的なリンタンパク質であるホスホホリンの構造の特徴と機能を説明できる。</li> </ul>	田邊奈津子	<p>C-3-4)-(2)-③骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。  E-3-1)-④歯(乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。</p>

12	AB	5月19日	4	<p>6. 骨の形成と吸収 1) 軟骨細胞と骨芽細胞の分化と機能発現の調節 2) 石灰化機構 (教) pp.220-224</p> <p>3) 破骨細胞の分化と機能発現の調節 7. 骨リモデリング 1) 骨リモデリング 2) Ca代謝調節 (教) pp. 215-219、 pp. 222-233</p> <p>資料配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>軟骨と骨を形成する細胞は、未分化間葉系細胞から分化することを説明できる。</li> <li>未分化間葉系細胞から骨芽細胞や軟骨細胞への分化は、特定の転写調節因子によって起こることを説明できる。</li> <li>膜性骨化と軟骨性骨化の機序を説明できる。</li> <li>石灰化のメカニズムについての学説を説明できる。</li> <li>破骨細胞の特徴を説明できる。</li> <li>破骨細胞による骨吸収のしくみを説明できる。</li> <li>骨吸収は、骨芽細胞と破骨細胞との細胞間接触によって起こることを説明できる。</li> <li>主な骨吸収促進因子の種類を説明できる。</li> <li>RANKL-RANKシステムによる破骨細胞形成の分子メカニズムを説明できる。</li> <li>炎症性サイトカインによる破骨細胞形成と骨吸収機能調節のしくみを説明できる。</li> <li>骨リモデリング過程を説明できる。</li> <li>血中カルシウム濃度調節機構の詳細を説明できる。</li> </ul>	田邊奈津子	<p>C-3-4)-(2)-④骨発生 (軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。 C-3-4)-(2)-⑤硬組織の成分と石灰化の機序を説明できる。</p>
13	AB	5月26日	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子発現調節</li> <li>スプライシング</li> <li>翻訳</li> <li>翻訳後修飾</li> <li>エピジェネティクス</li> <li>細胞内タンパク質の品質管理 (教) pp.106-117, 144-146</li> </ul> <p>資料配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子発現調節メカニズムについて説明できる。</li> <li>スプライシングについて説明できる。</li> <li>翻訳機構について説明できる。</li> <li>ヒストンアセチル化およびDNAメチル化による遺伝子発現調節について説明できる。</li> <li>分子シャペロンによる細胞内タンパク質の品質管理を説明できる。</li> <li>ユビキチン-プロテアソーム系、オートファジーによる細胞内タンパク質の分解メカニズムを説明できる。</li> </ul>	津田啓方	<p>C-2-2)-①核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。 C-2-2)-③転写と翻訳の過程と調節機序を説明できる。 C-2-3)-①真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を説明できる。</p>
14	AB	5月26日	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞分裂と細胞周期</li> <li>DNAの複製機構</li> <li>細胞死</li> <li>幹細胞</li> <li>細胞の老化</li> <li>細胞内(核内)受容体</li> <li>生化学実験法 (教) pp.104-105, 120-122, 141, 150-153, 156-171</li> </ul> <p>資料配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞分裂の流れと細胞内での出来事について説明できる。</li> <li>DNAの複製機構について説明できる。</li> <li>細胞死の性質と発生メカニズムについて説明できる。</li> <li>幹細胞の定義を説明できる。</li> <li>幹細胞(ES細胞, iPS細胞, 間葉系幹細胞)について説明できる。</li> <li>テロメアの短縮とテロメラーゼの関係について説明できる。</li> <li>細胞内(核内)受容体に結合するリガンドの性質について説明できる。</li> <li>生化学実習法のうち、PCR法、RT-PCR法、およびWestern blot法について説明できる。</li> </ul>	津田啓方	<p>C-2-1)-①アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。 C-2-2)-②デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復の機序を説明できる。 C-2-2)-⑤遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明できる。 C-2-3)-③細胞周期と細胞分裂を説明できる。 C-2-3)-④細胞死の種類と基本的機序を説明できる。 C-3-2)-②多能性幹細胞と基本的な発生学的技術を概説できる。</p>

15	AB	6月2日	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周組織の代謝</li> <li>・結合組織のリモデリング</li> <li>・炎症の経過</li> <li>・歯肉溝浸出液</li> <li>・唾液成分と機能</li> <li>・炎症時の骨破壊</li> </ul> 教4)pp.198, 302-315 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各歯周組織の栄養・酸素供給経路と代謝について説明できる。</li> <li>・歯肉固有層のリモデリングについて説明できる。</li> <li>・歯周疾患について、炎症の経過を説明できる。</li> <li>・歯肉溝浸出液の発生・流出メカニズムについて説明できる。</li> <li>・唾液成分の構造と機能について説明できる。</li> <li>・歯周炎で歯槽骨の破壊が起こるメカニズムについて説明できる。</li> </ul>	津田啓方	C-2-4)-③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能、合成と分解を説明できる。 C-3-4)-(1)-②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 C-3-4)-(2)-②結合(支持)組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。 C-3-4)-(2)-④骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。 C-5-5)-①炎症の定義と機序を説明できる。 C-5-5)-②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 E-2-2)-⑤唾液の性状、構成成分及び機能を説明できる。
16	AB	6月2日	4	三叉神経(1) 1)三叉神経の分布域 2)三叉神経と脳神経核 3)三叉神経の枝 教5)pp.451-459, 496-503, 507-513 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三叉神経の支配領域について説明できる。</li> <li>・三叉神経が関係する脳神経核の種類と機能について説明できる。</li> <li>・三叉神経の枝の種類と機能について説明できる</li> </ul>	高橋富久	E-2-1)-⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。
17	AB	6月9日	3	三叉神経(2) 1)上顎神経の枝 2)上顎神経と歯 3)翼口蓋神経節 教5)pp.451-459, 496-503, 507-513 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎神経の枝の種類と走行について説明できる。</li> <li>・上顎神経と歯の関係について説明できる。</li> <li>・翼口蓋神経節の線維連絡について説明できる。</li> </ul>	高橋富久	E-2-1)-⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。
18	AB	6月9日	4	三叉神経(3) 1)下顎神経の枝 2)下顎神経が支配する筋 3)下顎神経と歯 4)耳神経節と顎下神経節 教5)pp.451-459, 496-503, 507-513 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下顎神経の枝の種類と走行について説明できる。</li> <li>・下顎神経と筋の関係について説明できる。</li> <li>・下顎神経と歯の関係について説明できる。</li> <li>・耳神経節と顎下神経節の線維連絡について説明できる。</li> </ul>	高橋富久	E-2-1)-⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。

19	AB	6月16日	3	三叉神経(4) 1)上行性の神経路 2)下行性の神経路 教5)pp.451-459, 496-503, 507-513  資料配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上行性神経路(感覚路)と下行性神経路(運動路)の概要について説明できる。</li> <li>・三叉神経が関係する感覚路と運動路について説明できる。</li> </ul>	高橋富久	E-2-1)-⑤脳神経の走行, 分布及び線維構成を説明できる。
20	AB	6月16日	4	歯の組織学 教6)pp.265-297  資料配布	エナメル質、象牙質、歯髓の基本構造、加齢変化について説明できる。	山崎洋介	E-3-1)-④歯(乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 E-3-1)-⑤歯髓の構造と機能を説明できる。 E-2-3)-④口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。
21	AB	6月23日	3	歯周組織の組織学 教6)pp.299-345  資料配布	セメント質、歯槽骨、歯肉、歯根膜の基本構造、加齢変化について説明できる。	山崎洋介	E-3-1)-⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 E-2-3)-④口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる
22	AB	6月23日	4	歯の形成と萌出、脱落 教6)pp.227-264 口腔諸組織の組織学 教) pp.327-372  資料配布	<p>歯胚の形成と歯胚のステージについて説明できる。</p> <p>エナメル芽細胞、象牙芽細胞の分化と基質形成について説明できる。</p> <p>歯の萌出と交換にともなう乳歯脱落の機構と組織変化について、順を追って説明できる。</p> <p>口腔粘膜、唾液腺、舌、扁桃、顎関節の基本構造について説明できる。</p>	山崎洋介	E-3-1)-①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 E-2-1)-⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-1)-⑫扁桃の構造、分布及び機能を説明できる。 E-2-2)-③舌の構造と機能を説明できる。 E-2-2)-⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 E-2-2)-⑩味覚器の構造と分布、味覚の受容と伝達機構を説明できる。
23	AB	6月30日	3	材料の性質、種類および構造 教7)pp.1-5, 7-26, 27-64  資料配布	歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。 材料の物理的(力学的性質と熱的性質を含む)、化学的(溶解性を含む)、生物学的(生体活性、副作用を含む)性質とその評価法を説明できる。	小泉寛恭	D-1-①歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。 D-1-②材料の物理的(力学的性質と熱的性質を含む)、化学的(溶解性を含む)、生物学的(生体活性、副作用を含む)性質とその評価法を説明できる。 D-1-③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。
24	AB	6月30日	4	印象用材料 模型用材料 義歯床用材料 成形修復材料 教7)pp.117-147, 149-155, 273-306, 73-104  資料配布	印象・模型・義歯床用・成形修復用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	小泉寛恭	D-2-①成形修復・予防充填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 D-2-②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 D-2-③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

25	AB	7月7日	3	<p>予防歯科材料            歯科用器械            切削・研削・研            磨材料            教7)pp.65-            71, 335-            57, 374,            359-73</p> <p>資料配布</p>	<p>予防歯科・歯科用器械・切削・研削・研磨用材            料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方            法を説明できる。</p>	小泉寛恭	<p>D-1-③診療用器械・器            具の構造と特性を説明で            ける。 ▪ D-2-① ▪            成形修復・予防填塞用材            料の種類、用途、成分・            組成、特性、操作方法を            説明できる。</p>
26	AB	7月7日	4	<p>歯科用金属材料            歯科鑄造工程と            パターン材、技            術 教            7)pp.165-            193, 157-            164, 198-            221</p> <p>資料配布</p>	<p>歯科鑄造用材料の種類、用途、成分・組成、特            性、操作方法を説明できる。</p>	小泉寛恭	<p>D-1-③診療用器械・器            具の構造と特性を説明で            ける。 D-2-            ②歯冠修復・義歯用材料            の種類、用途、成分・組            成、特性、操作方法を説            明できる。 ▪</p>
27	AB	7月14日	3	<p>接着・合着用材            料            歯冠補綴用レジ            ン            歯冠用セラミッ            クス 教            7)pp.253-            71, 243-            52, 223-42</p> <p>資料配布</p>	<p>接着・合着・歯冠補綴用レジ            ン・歯冠用セラ            ミックス材料の種類、用途、成分・組成、特            性、操作方法を説明できる。</p>	小泉寛恭	<p>D-2-②歯冠修復・義歯            用材料の種類、用途、成            分・組成、特性、操作方            法を説明できる。 ▪            D-2-③接着・合着・仮            着用材料の種類、用途、            成分・組成、特性、操作            方法を説明できる。</p>
28	AB	7月14日	4	<p>インプラント用            材料            矯正用材料            歯内療法用材料            歯科材料の機械            的性質            教7)pp.307-            24, 325-            34, 105-            16, 325-34</p> <p>資料配布</p>	<p>インプラント・歯科矯正・歯内療法用材料の種            類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明            できる。 歯科材料の機械的性            質を説明できる。</p>	小泉寛恭	<p>D-2-④歯科矯正用材料            の種類、用途、成分・組            成、特性、操作方法を説            明できる。 ▪            D-2-⑤口腔インプラ            ント・口腔外科・歯周治療            用材料の種類、用途、成            分・組成、特性、操作方            法を説明できる。 ▪            D-2-⑥歯内療法用材料            の種類、用途、成分・組            成、特性、操作方法を説            明できる。 ▪</p>